

2023年度第2回豊岡市地域包括支援センター運営協議会（会議録）

- 1 日時 :2024年1月31日(水)13:30~14:20
- 2 場所 :豊岡市役所立野庁舎 多目的ホール
- 3 参集者 :11名(欠席2名)

1 開会(13:30)

2 あいさつ

3 報告事項（事務局説明）

(1)2023年度豊岡市地域包括支援センターの設置状況について

資料1

(2)2023年度豊岡市地域包括支援センターの事業報告について

資料2

〔質問・意見〕

質問:P7権利擁護に関する相談の約7割が豊岡圏域に集中しているとあるが、地域的なものなのか。何か分析されているか。

回答:豊岡圏域で多いのは例年同じようなことである。詳細の分析はしていないが、権利擁護の必要な方の相談が多くなっていることと、職員が複数で動くため、実件数より実際相談対応に動く職員の数でカウントが多くなっている。

[地域包括支援センター]

意見:P4、P6、P10等身寄りのない高齢者の支援についての報告があるが、活動や実績の中で具体的な事例があれば良い。成年後見や任意後見を利用したケースに関わってきた中で、決まるまでも決まってからも多くの難しさがある。現状や成年後見制度とは何かというようなことを伝えていくためにも事例や解決までの経過を挙げていく方がこれからの参考になる。

回答:年に2回運営協議会があり、例年1回目の運営協議会では1年間のまとめとして具体的な事例を挙げて報告させていただいている。次回の報告には、ご意見を参考に事例を盛り込んだ報告をさせていただく。

[地域包括支援センター]

質問:P4 末期がん患者の在宅看取りなどの支援の増加とあるが、最近増加しているのか。また、看取りの支援を行う上で、病院に対して求めることはあるか。

回答:最近急に増えてきているとは思わないが、今年度12月までに地域包括支援センターで末期がん患者の看取りを多くしたという実績はある。末期がん患者であっても、自立度が高いと要介護認定が出ないことや要支援認定となることもあり、地域包括支援センターが在宅医や訪問看護と連携をとりながら看取ったケースがある。区分変更申請をしても、認定結果が出る前に命を終えられた方もある。独居の方で、訪問看護が頻回に入ることによって支援を行っていた方が、訪問看護が入った時に他界されているのが見つかったというケースもある。病院側にお願ひできるなら、退院して在宅になられる時の情報共有や連携等が

密にできると、在宅でのバックアップ体制を考える時間が持てると思う。身寄りのない方の在宅看取りが大きな課題となっている。

[地域包括支援センター]

(3) その他

介護人材不足に対し、2024年度高年介護課に保健師と社会福祉士の専門職を配置し地域包括支援センターのバックアップ体制の強化を図ることの報告

4 協議事項（事務局説明）

(1) 豊岡市内の地域包括支援センター業務の次期委託先について 資料3

[意見]

意見: 委託期間が1年となると毎年契約をしていく必要がある。どこも受け先がなく、地域包括支援センターとしての動きが止まり、市民に支障となるようなことがないよう、市と委託先両方で意思疎通を図りながら連携を取って行っていただきたい。

【結果】

豊岡市内の地域包括支援センター業務の次期委託先について、反対意見なし

【委託期間 2024年4月1日～2025年3月31日】

(2) 2024年度豊岡市地域包括支援センター事業実施方針(案)について 資料4

[質問・意見]

特になし

【結果】

2024年度豊岡市地域包括支援センター事業実施方針(案)について承認

5 閉会(14:20)